

情報漏えい対策ツール  
USB **HARDLOCKER 4**  
**Server**

Ver. 4.3.0 について

このドキュメントは『USB HardLocker 4 Server』Ver 4.3.0の新規に追加された機能とインストールについて説明します。製品付属の「利用ガイド」と併せてご利用ください。

### 1. 新しく追加された機能について

本バージョンでは現行バージョン Ver. 4.2.9(2020年11月1日時点)に以下の機能を追加しています。

- 鍵の装着でWindows にサインイン
- 鍵を取り外してWindowsをロック

インストーラ  
「USB HardLocker 4 Server.exe」は  
上書きアップデート、新規インストールの  
どちらにも利用できます。

### 2. Ver. 4.2.9以前からのアップデート

Ver. 4.2.9以前からのアップデート手順について説明します。

※ バックアップツールを利用して予めバックアップを作成しておくことをお勧めします  
(利用ガイド第5章参照)。

1. 管理者権限でWindowsにサインイン(ログオン)して「USB HardLocker 4 Server.exe」を実行します。
2. ウィザードのメッセージに従ってインストールを進めてください。
3. インストール完了後にシステムを再起動します。これでアップデートは完了です。
4. ユーティリティを起動して「設定」、鍵の「プロパティ」からWindowsユーザー関連の設定をおこないます(5ページ参照)。



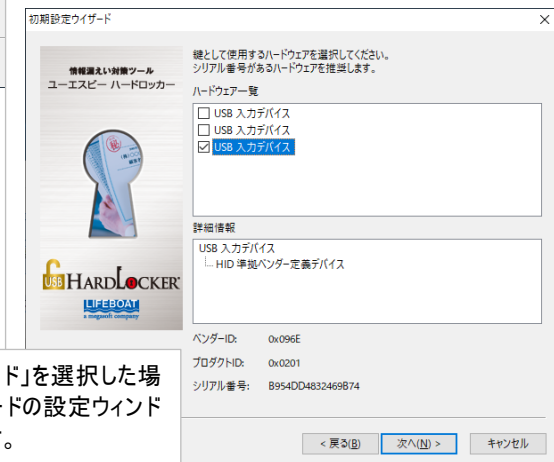
### 3. 新規インストール

新規にインストールする場合の手順について説明します。

1. 管理者権限でWindowsにログオンして「USB HardLocker 4 Server.exe」を実行します。インストールプロセスは前述のアップデートや通常の新規インストールと同様です。インストール完了後にシステムを再起動してください。
2. 再起動後Windowsにサインインすると「初期設定ウィザード」が起動します。「USB」または「USB × パスワード」を選択して、使用するUSB機器を選択します。



鍵として使用する機器を選択して「次へ」をクリックします。

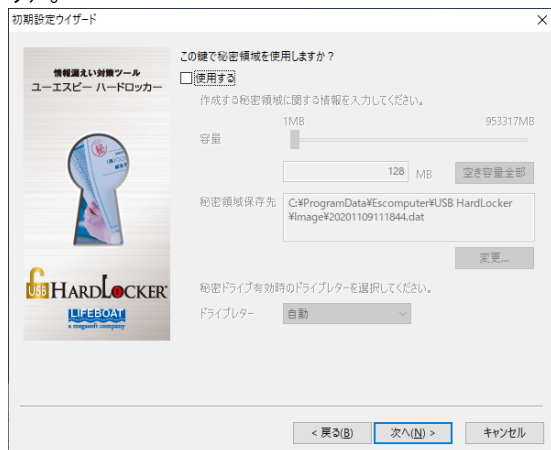


「USB × パスワード」を選択した場合、次にパスワードの設定ウィンドウが表示されます。

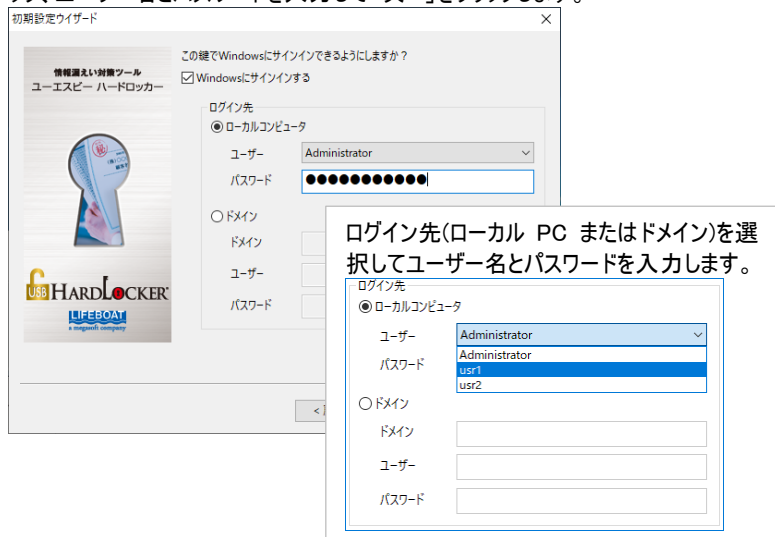
3. 鍵の種類を選択して「次へ」をクリックします（初期設定時「利用者」鍵は選択できません）。



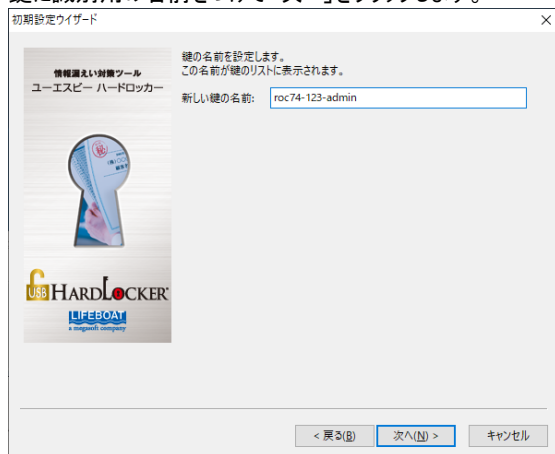
4. 秘密領域を使用する場合はここで設定します（鍵の設定後に追加することもできます）。



5. 鍵をWindowsユーザーと関連付ける場合、ここで「Windowsにサインインする」をチェック、ユーザー名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



6. 鍵に識別用の名前をつけて「次へ」をクリックします。



## 7. 初期設定が完了します。



## 4. Windowsユーザーとの関連付け

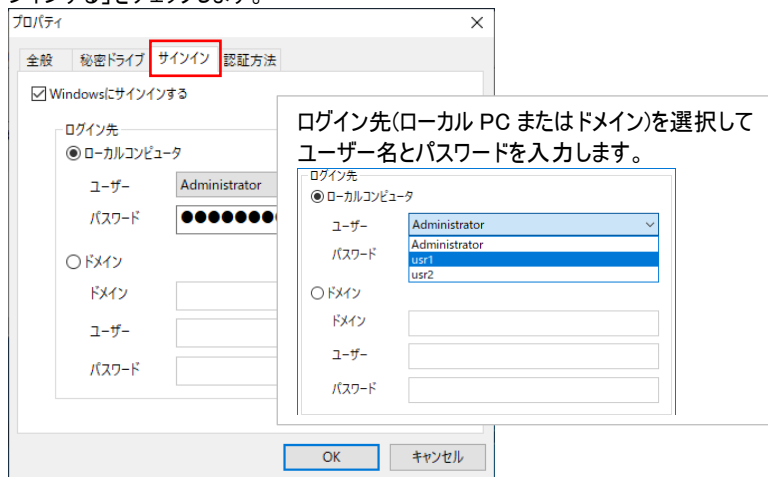
Ver. 4.3.0へのアップデート完了後および、初期設定の完了後にWindowsユーザーとの関連付けの設定・変更をおこなうことができます。

### < 鍵の設定 >

1. ユーティリティを起動後、鍵を選択して「プロパティ」をクリックします。

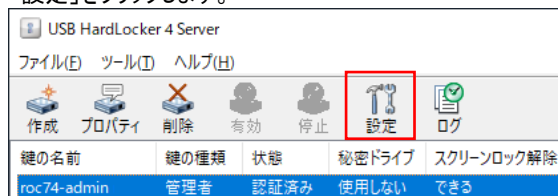


2. ユーティリティ上で「サインイン」の項目が追加されています。ここで「Windowsにサインインする」をチェックします。

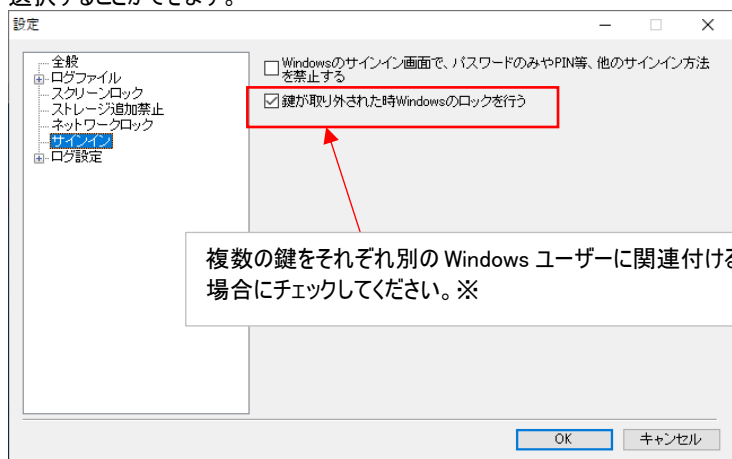


## <サインインオプション>

1. 「設定」をクリックします。



2. 「サインイン」を選択してWindowsユーザーと鍵を連携させる場合の動作オプションを選択することができます。



※ チェックしない場合、鍵を取り外してスクリーンをロックした後に別な鍵を装着すると、ロックする前のユーザーデスクトップが表示されます。

